

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

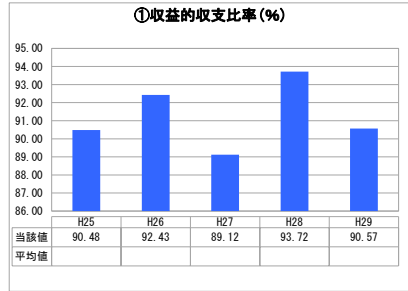
宮城県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	21.72	84.84	2,700

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,929	90.12	176.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,431	1.82	1,885.16

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



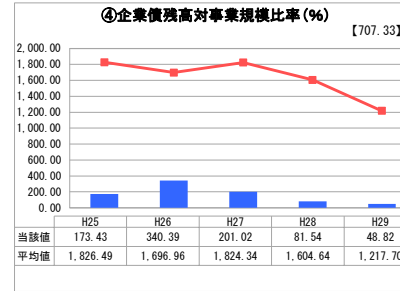
「単年度の収支」



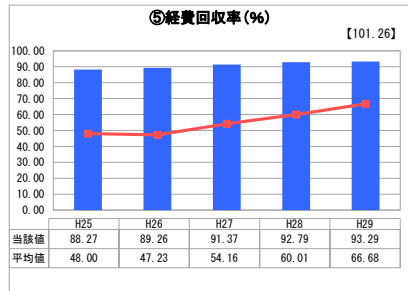
「累積欠損」



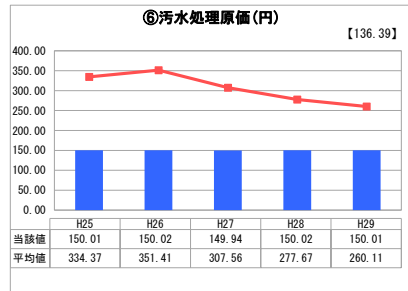
「支払能力」



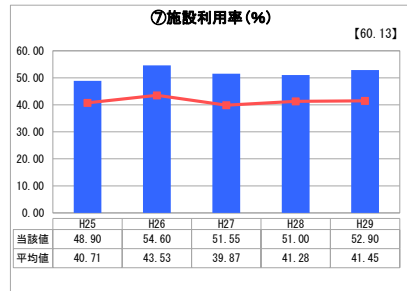
「債務残高」



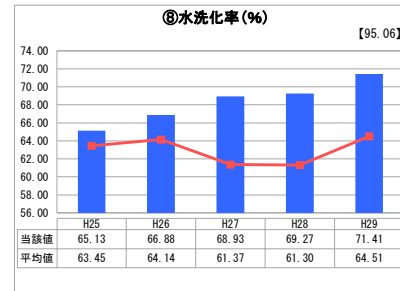
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

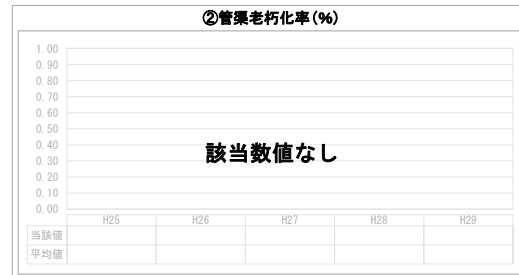


「使用料対象の捕捉」

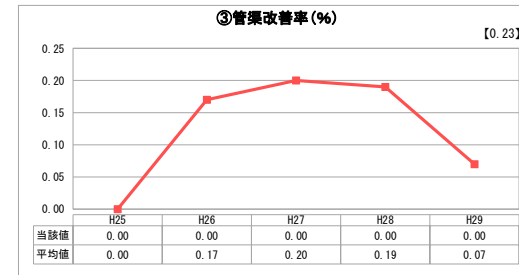
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を下回っており、経営の健全性が確保されているとはいえません。コスト削減や水洗化推進による使用料収入増などの経営改善を図る必要があります。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を下回っています。H22年度で整備が完了し、これ以降起債がないことが要因と思われます。

⑤経費回収率は、類似団体平均値を上回っていますが100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味し、健全性が確保されているとはいえません。①同様、コスト削減或使用料収入増など経営改善を図る必要があります。

⑥汚水処理原価は、おおむね150円/m程度で推移しています。類似団体平均値を下回り、効率的な汚水処理が行われています。

⑦施設利用率は、水洗化率向上に伴い類似団体平均値を上回っていますが、まだ余裕がある状況であることから経営の効率性については、改善する必要があります。

⑧水洗化率は、毎年2%程度向上し類似団体平均値を上回っています。更なる水洗化を推進する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から13年余りしか経過しておらず、現在、管渠等の老朽化は認められません。今後の更新計画を今年度策定した川南町下水道ストックマネジメント計画に沿って行い適正管理に努めます。

### 全体総括

施設自体比較的新しいため汚水処理については、類似団体平均と比較して低コストで行っていますが、水洗化率は、まだ高いとはいえず、汚水処理経費を使用料以外の収入に依存している状況であることから、経営の健全性を高めるため、適切な料金水準について検討、水洗化推進を行う必要があります。

経営戦略については、平成30年度までに策定予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。